

令和7年2月28日

さくら市議会議長 笹沼 昭司 様

さくら市長 花塚 隆志

令和6年度議会報告会実施に伴う提言書の回答について

令和7年1月17日付けで提出いただいた、「さくら市議会報告会2024 提言書」につきまして、別添のとおり回答いたします。

引き続きまして、市政経営に対しご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

さくら市議会報告会2024 提言書に対する回答書

【提言1】 中高生の居場所作りについて

・市内には中高生を対象とした遊び場が無いいため、隣町のアミューズメントパーク等を利用する事が多い。市内への誘致を検討して欲しい。

A. 中高生を含む若者が楽しく快適な時間を過ごせる環境を提供することは、行政の役割でもありますので、そのための施策を講じることが必要であると考えます。

隣町のアミューズメントパークが市民に喜んで利用されていることは、中高生が楽しみ、共有する場所を求めているということと捉えておりますので、そのような事業を行う企業の進出促進のための環境整備を進め、誘致に繋がるよう取り組んで参ります。

・中高生が安心して集える居場所も無く、学習室等も手狭である。さくらテラスや公民館等の公共施設の開放を検討して欲しい。

A. 内閣府の「子ども・若者白書」では、居場所がないと感じている子どもや若者が増えているとの報告が示されています。

行政としても、若者が安心して集える居場所を得た肯定感や充実感は、地元への愛着や定住にもつながる重要な要素だと考えておりますので、仲間と安心して集うことができるスペースの確保は、一つの重要な課題であるものと捉えております。

氏家駅前に立地する市民活動支援センターでは、そうした若者たちも安心して集えるよう、開館中はフリースペースを常時提供しており、氏家公民館の談話室及び喜連川公民館ロビー(無料・予約不要)を開放しております。

しかしながら、居場所の数としては潜在的な利用希望者数のニーズの充足には及ばない可能性も考慮し、今後は市民、特に中高生からの要望に応えるべく、関係各課と協議しながら、テラスを含む市の施設の利用方法について検討を重ねていきたいと考えております。

尚、学習室の狭小の改善策としては、現在、氏家公民館の1室を学習室として開放に向け、準備を進めております。なお、詳細が決まり次第、市HP等を利用し周知してまいります。

・中高生が居場所を利用する際に、足となる公共交通が脆弱である。高齢者を含めた交通弱者が自由に市内を移動できるよう、更なる公共交通の充実を求める。

パネリストから以上の意見があった。当市の子ども向け施設は対象が乳幼児、小学生向けで、中高生が積極的に利用したい施設が無い。中高生が市内の居場所で仲間と過ごす時間を共有し、市に愛着を持ち、将来にわたって定住してくれるよう、彼らのニーズに沿う施策の強化が必要と考える。

A. 人口減少による人材確保が困難となっている社会情勢の中、民間による公共交通の運営は大

変厳しい状況にあります。

市民の足として利便性の高い公共交通の確保は行政として重要な施策であることから、現状で導入、運営が可能な AI を使ったデマンド交通を令和 7 年 2 月から運行しています。

運行開始後はシステムの課題点、市民ニーズを見極めつつ改善を行って行く予定ですが、更なる公共交通の充実のため、新システムの調査研究は随時行ってまいります。

【提言 2】 喜連川地区の活性化について

・喜連川地区の豊かな自然と、都市圏から近い利便性を生かし、リモートワークによる移住促進策を進めて欲しい。

パネリストから以上の意見があった。都市部からの移住促進のために、テレワークやワーケーションのためのサテライトオフィス設置や、空き家有効活用等の環境整備必要と考える。また喜連川地区の更なる魅力発信に努め、関係人口増に繋げて欲しい。

A. 現在、本市において移住促進策として移住支援金制度を利用し、リモートワークによる移住実績がある中、更なる移住促進のため、首都圏で開催される移住フェアへの出展を増やし、本市の魅力発信および関係人口の増加に努めております。

今後も、空き家を有効に活用できる補助制度、お試し移住事業の見直し、移住支援金の要件拡充など、移住促進に繋がる事業を検討してまいります。

特に喜連川地区における活性化につきましては、栃木 SC による練習拠点の整備が進められますので、連携した情報発信、関連施設の整備等により関係人口の増大に繋がりたいと考えております。

【提言 3】 氏家駅東口の混雑解消について

・朝夕の通勤通学時、送迎の自家用車等で駅前のロータリーが混雑し、渋滞も発生している。また自家用車、路線バス、送迎バス、歩行者等がクロスして大変危険な状況にあるので解消して欲しい。

パネリストから以上の意見があった。氏家駅東口に関しては、都市計画道路整備を始めとしたまちづくり基本構想が進行中であるが、危険な状況を放置するわけにはいけないので、当面の混雑解消策を早急に考えて欲しい。

A. 現在、氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本構想をもとに、基本計画の策定に向け、関係者へのアンケートや交通量調査を実施し、基本計画の策定に向け進めております。氏家駅東口ロータリーにおいてもご提言いただいているように、課題が多く再整備を含めて検討をしております。

当面の混雑解消策といたしまして、路線バスやタクシー以外の車での駅利用者については、乗り降りの行為を優先とし、待合によるロータリーへの乗り入れをしないよう看板等による周知を図るとともに、待合の自家用車は市営駐車場の利用や市管理の施設駐車場への誘導できるよう努めてまいります。